

## 04 棒グラフの作成



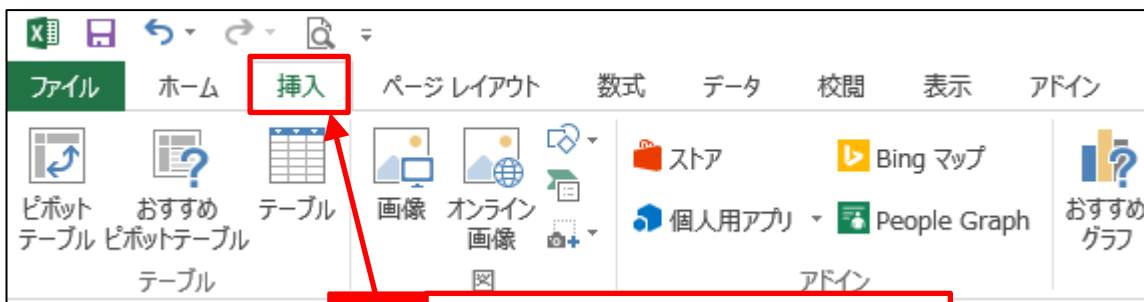
それでは、先ほどの表を使ってグラフをつくります。  
 今回は「オリンピックごとのメダルの数の比較」ですので  
 【棒グラフ】でつくってみましょう。

▶ 表の中で、グラフにするセル範囲を選択する

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	夏のオリンピック 日本のメダル数							
2								
3	回数	開催年	国名	都市名	金メダル	銀メダル	銅メダル	合計
4	第23回	1984年	アメリカ	ロサンゼルス	10	8	14	32
5	第24回	1988年	韓国	ソウル	4	3	7	14
6	第25回	1992年	スペイン	バルセロナ	3	8	11	22
7	第26回	1996年	アメリカ	アトランタ	3	6	5	14
8	第27回	2000年	オーストラリア	シドニー	5	8	5	18
9	第28回	2004年	ギリシャ	アテネ	16	9	12	37
10	第29回	2008年	中国	ペキン	9	6	10	25
11	第30回	2012年	イギリス	ロンドン	7	14	17	38
12	第31回	2016年	ブラジル	リオデジャネイロ	12	8	21	41

**01** セル範囲「D3:G12」を選択しましょう。

▶ おすすめグラフの挿入



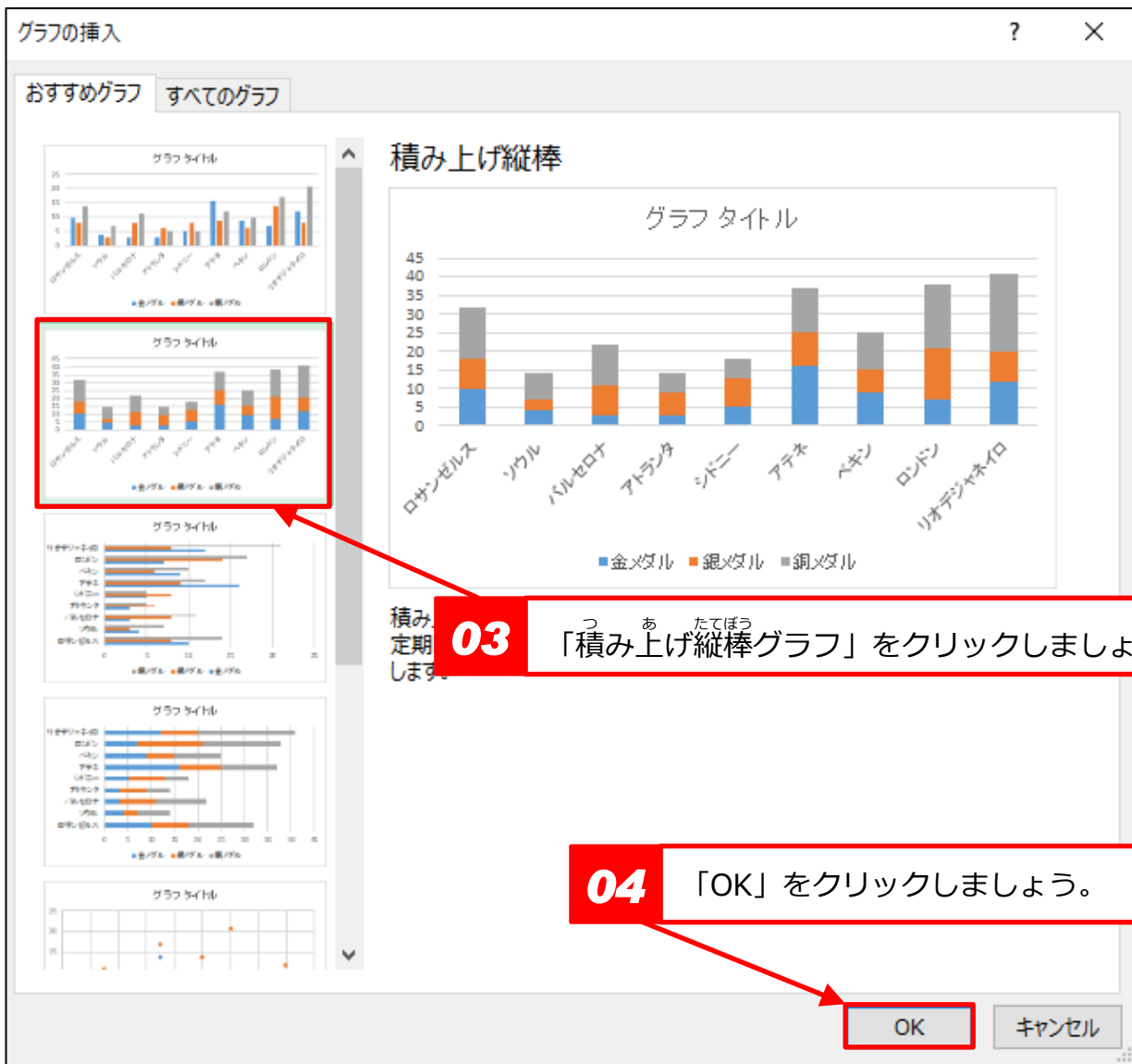
**01** 「挿入」タブを開きましょう。





**02** 「おすすめグラフ」をクリックしましょう。

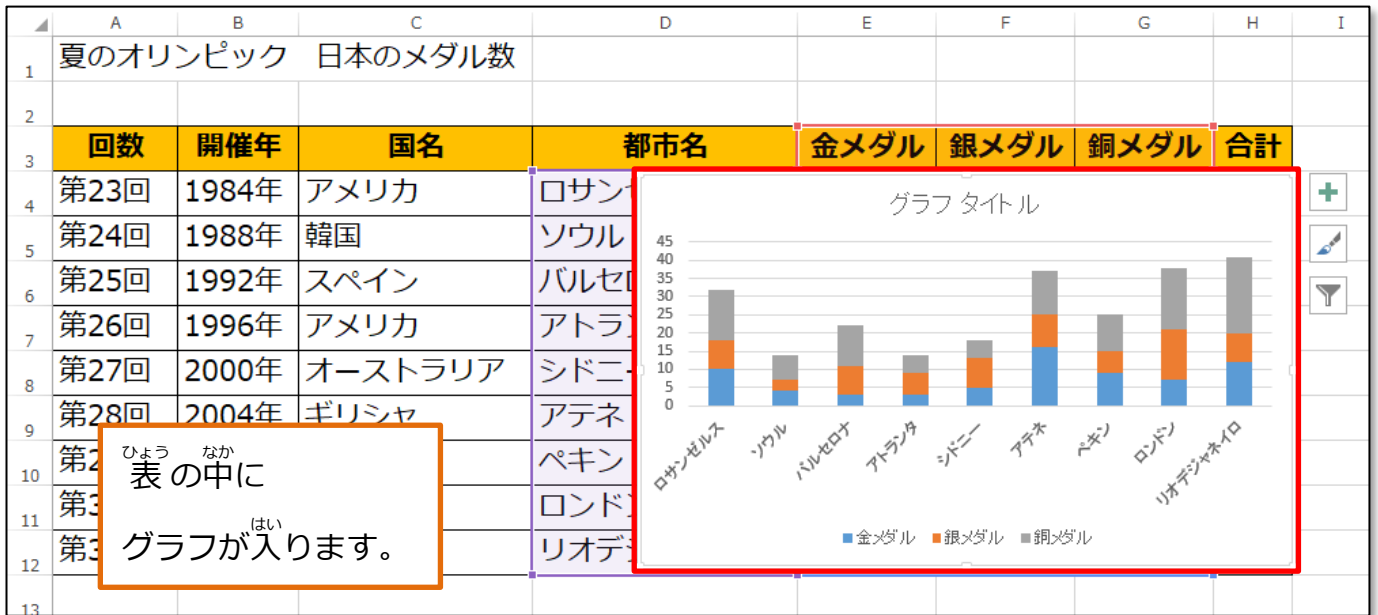
「おすすめグラフ」では、えらんだデータに<sup>てき</sup>適したグラフをいくつかおすすめしてくれますので、どのグラフをつくればいいか<sup>まよ</sup>迷った時<sup>とき</sup>も<sup>べんり</sup>便利です。



**03** 「積み上げ縦棒グラフ」をクリックしましょう。

**04** 「OK」をクリックしましょう。





ひょう なか  
表の中に  
グラフがはいります。

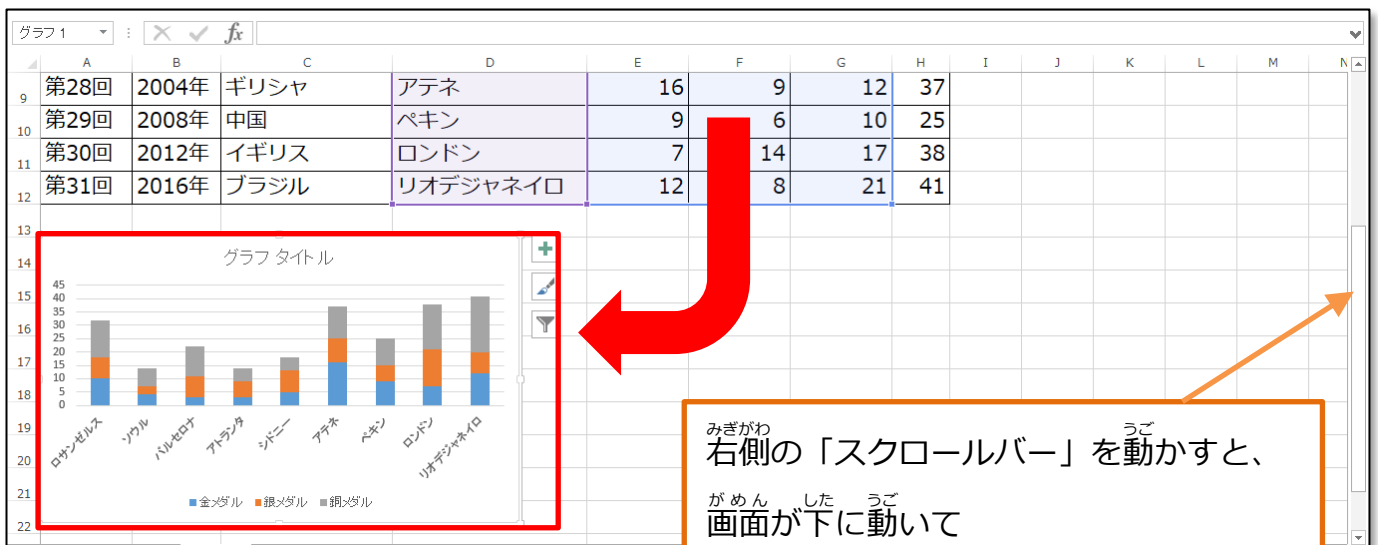
【棒グラフ】だけでも、いろんな種類がありますね。  
この【積み上げ縦棒グラフ】は、メダルの総数や割合もわかりますね！



▶ グラフの位置を移動する



このままだと、表に重なって見えにくいので  
グラフをドラッグして、表の下に移動しましょう。



みぎがわ  
右側の「スクロールバー」を動かすと、  
がめん した うご  
画面が下に動いて  
した ぶぶん ひょうじ  
下の部分も表示できます。

